



2020年11月12日

各位

会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社
 代表者名 代表取締役副社長 大谷 彰一
 (JASDAQ・コード番号 9610)
 問合せ先 執行役員グローバルコーポレート本部 本部長
 渡壁 淳司
 電話番号 03-6381-0234

2021年3月期通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月26日に公表いたしました「2020年3月期決算短信[日本基準](連結)」におきまして、未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を下記の通りといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	1,600	△700	△710	△720	△139 69
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前年連結実績 2020年3月期	2,408	△486	△515	△828	△160 76

(2) 業績予想の理由

国内経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による2020年4月の「緊急事態宣言」の発令や各自治体による自粛要請以降減退をしておりましたが、緩やかな回復傾向にあります。

グローバル全体における経済活動へは大きな影響を及ぼしており、また感染第2波への警戒もあり世界経済の先行きは引続き非常に不透明な状況となっております。

人材育成業界におきましても、人が物理的に集合しての企業研修の凍結が多発し、また経済の減速による研修予算の縮小や計画の見直しの傾向が続きました。

国内におきましては、8月から9月以降の企業研修市場は回復傾向にありますが、グローバル全体では人材育成計画の凍結傾向は継続しております。

一方、オンラインでの研修ニーズが非常に高まり、研修コンテンツは同期型、非同期型のオンライン化への急速な変化を遂げており、グループ全体としても、短期間でこの変化に対応する商品開発を行

い、市場のニーズへの対応を行っております。

新型コロナウイルス感染症の拡大が当社およびグループ企業に与える影響について、適正かつ合理的な算定が困難であることから、業績予想を未定としておりましたが、上記の状況を踏まえつつ今後市場が当期末に向けて緩やかな回復に向かうと想定し、業績予想を公表いたします。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—	—	—
今回発表（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00
前期実績 2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 配当予想の理由

2021年3月期の剰余金の配当につきましては、上記1の連結予想の通り連結業績は△720百万円の親会社株主に帰属する当期純損失と予想しており、個別業績（日本単体）での配当可能剰余金額が引き続きマイナスと予想されるため、無配とさせていただきます。

（注）上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上